



活動報告



＜鈴木隊員＞

8月下旬から制作をはじめている『絵本の里けんぶち町』をPRする映像は、けんぶち絵本の里を創ろう会さん、剣淵町保育所の子どもたちにご協力いただき、もう少しで完成というところまでできあがりしました。この動画は、町内のデジタルサイネージ、インターネット（町HP・Facebook）、札幌駅前地下歩行空間北2条交差点広場で放映したいと考えています。動画をご覧ください方が「剣淵町ってなんだかステキ」と、そんな気持ちを抱いていただければ、町農産物などの販売の面においてもプラスの効果が生まれるのではと、私自身が期待しているところです。

今年も、北海道どさんこプラザ札幌店で、『絵本の里けんぶち町がお届けする農産物フェア』を実施することとなりました。期間は、11月7日（水）～13日（火）までです。札幌駅を利用する消費者に、剣淵町の農産物はおいしいということをアピールしつつ、消費者のニーズを把握する機会にしたいと思っています。



絵本の里けんぶち町 PR 映像の一部シーン



＜村上隊員＞

こんにちは、家の周りでは紅葉もすすみ、冬がそこまで来ているのが感じられます。はやく雪虫を見てみたいなの、マイナス20度ってどんなだ、などと雪のある初冬にドキドキわくわく楽しみにしながら過ごしています。

9月は地元、西原の方にお手伝いいただきながら鶏小屋が完成しました。只今、窓まで付いた豪華な鶏舎に5羽のこっこ達がいまいます。卵を取りに小屋に近づくとココココココオーと寄ってきて思っていた以上に可愛いです！

そして、やっぱり西原の方にお手伝いいただいた畑には、ラベンダーを100株定植できました。初めて立てた畝はまっすぐではなく波を打っているけど、嬉しくて毎日眺めています。来春から差し芽で増やしてラベンダー畑になる日が楽しみっ。

さらに、9月中旬も過ぎたある朝、外に出るとミャアミャア鳴く迷い猫が...家族がまた増えてしまいました。そんなこんなで9月もあっという間に過ぎ、来月はカフェオープンに向けてメニューの絞り込み、試作なんかを進めていくつもりです。





く小西隊員

¡Hola! スペイン語はアルファベットを使いますが、英語にはない文字があります。「ñ」で、ニャ行の発音です。気象用語「エルニーニョ」はスペイン語なんです。“El niño”と書き、意味は「男の子」です。反対の現象、「ラニーニャ」は“La niña”で「女の子」の意味になります。

ジャガイモ収穫体験・お手伝いに行ってきました。機械で掘られたものを手で拾ったり、ハーベスターの上で選別したりといろいろ経験させていただきました。北海道に来てからジャガイモ、ビート、小豆、キャベツ、南瓜、メロン、玉ねぎ、スイートコーン、水稻といろいろな作業に携わったのですが、好きな農作業ベスト1はハーベスターの芋掘りです。レーンに流れたきたイモをみんなで協力して分けていく感じが好きです。ちなみに第2位はメロンの摘果です。



ジャガイモ畑
いいお天気の日でした



ポテトハーベスター



く青木隊員

「聞くは一時の恥。聞かぬは...。」

「聞くは一時の恥。聞かぬは一生の恥。」これをモットーに色々な人にことあるごとに質問をしています。ほとんど興味本位からなのですが、剣淵の皆さんは親切に答えてくださいます。ありがとうございます。

こんな私の行動の延長上にあっただのが、昨年度の広報で書かせていただいていた町の人へのインタビュー記事でした。掲載スペースがなくなったので消滅してしまいましたが、記事にせずとも相変わらず色々な人にあれやこれや聞いては勉強させていただいています。

折り紙で星の木のモニュメントを作ったり、剣淵土産を考えてみたり、やりたいことがまだまだ色々ありますが、剣淵の人の声が少しでもいきるものを生み出したいです。



く佐々木隊員

最近ピザづくりをはじめました。というのも剣淵の美味しい農産物を手軽に味わえる場所があったら良いなという考えからです。そこで、町内で野菜を使ったピザとスープを提供するイベントを定期的で開催することにしました。ある農家さんから「ちょっと変な形になると出荷できないので、廃棄する野菜が沢山出てしまう」とお聞きました。使用するのは微々たる量ですが、材料はその廃棄となる野菜を使いたいと思っています。これから町内の農家さんを訪ねることがあるかと思しますので、もし可能であればご協力いただけると大変ありがたいです。ピザやスープはどんな農産物でも具材として使いやすいので、旬のものをその都度活かしたいです。直近では11月後半に第一弾を計画中です。



試作品第一号。もちもち生地が好きなので、白玉粉を入れてみました。